

学習展開例

対象校種：中学校 授業時間 50分

対象教科：総合



能代市立
能代南中学校
教諭 嵯峨静人

新着

8万人の犠牲者を出した満蒙開拓 この歴史から何を教訓とするべきか？

平和

児童生徒の思考の流れと活動の流れ	教師の支援と評価
<p>旧満州国について知っていることを発表する</p> <p>番組部分視聴（開始～4分41秒） 国策が優先され、農民の命が軽んじられた</p> <p>・満蒙開拓について調べたい ・戦争末期になってもなぜ多くの人々が満州に送られ続けたのだろうか</p> <p>それぞれの当事者の気持ちはどのようなものだったのだろうか？</p> <p>開拓民 村長 現地の中国人 官僚</p> <p>番組部分視聴 （4分41秒～20分21秒、34分5秒～35分22秒） つらい役割を背負わされた久保田さん</p> <p>・当事者の心情についてグループで話し合いまとめる ・グループでまとめたものを学級全体で共有する</p> <p>・開拓民の女性や子供たち：集団自決に追い込まれた ・村長：自分の決断のせいで起きた開拓民の悲劇に対する苦悩 ・現地の中国人：日本人に土地を強制的に買収されたことに対する憎しみ ・官僚：農林省も巻き込んで、国策を強引に遂行 食糧増産や対ソ防衛のために行われた満蒙開拓は、日本が重要政策として進めた国策だった。終戦までに送られた開拓民の数は27万人以上。そのうち8万人以上が戦闘に巻き込まれるなどして犠牲になった。</p> <p>他の史実からも平和について深く考えてみたい</p>	<p>○旧満州国について、これまでに社会科などで学んだことを振り返る場を設定する。</p> <p>○番組の冒頭を視聴することにより、時代背景や終戦時に起きた集団自決の事実を知り、教材への関心を高める。</p> <p>○番組から得られた情報をまとめるよう指示する。</p> <p>・旧満州に取り残されていた開拓民のうち8万人以上がソ連軍の侵攻（1945年8月）の際に犠牲になった</p> <p>・開拓民の集団自決 ・村民を送り出した村長が残した日記 ・土地を失った現地の中国人の心情 ・官僚たちが残した資料→見直されることなく遂行されていた国策</p> <p>○必要に応じてメモを取るよう声かけする。</p> <p>○できるだけ多くの生徒が発表できるように指示する。</p> <p>【思考・判断・表現】 立場の異なる当事者たちの心情を客観的に考えることができたか。</p> <p>○史実から平和の尊さを学ぶ意欲をもたせる。</p>